

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年11月8日
【四半期会計期間】	第73期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	株式会社サンテック
【英訳名】	Sanyo Engineering & Construction Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 八幡 欣也
【本店の所在の場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区二番町3番地13
【電話番号】	(03)3265 - 6181（大代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部長 船戸 文英
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社サンテック広島支社 （広島市中区大手町五丁目3番18号） 株式会社サンテック大阪支社 （大阪市北区中津一丁目7番8号） （注） 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所では ありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としておりま す。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第2四半期 連結累計期間	第73期 第2四半期 連結累計期間	第72期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	19,656,662	20,804,967	45,051,208
経常利益 (千円)	377,794	66,015	1,170,852
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失 () (千円)	198,174	31,483	683,608
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	415,118	171,591	360,963
純資産額 (千円)	30,024,185	29,395,863	29,974,472
総資産額 (千円)	44,451,157	43,782,072	46,541,177
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 () (円)	11.22	1.85	39.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.5	67.0	64.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,418,709	487,278	2,349,936
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,248,206	713,700	1,993,513
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,404,875	665,496	1,485,659
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	9,308,411	7,434,294	8,387,325

回次	第72期 第2四半期 連結会計期間	第73期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失 () (円)	11.26	3.79

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当社グループは、第12次中期経営計画（2019年4月～2022年3月）に基づき、「信頼と企業ブランドの確立（Next Stage）」を目指し、選ばれる会社への挑戦に向けて、「お客さま等のニーズに応え受注拡大に繋げる営業力の強化」、「品質・安全の確保と生産性向上による施工力強化と利益の確保」、「企業の礎と将来を担う人財の確保と育成」、「ガバナンスの確保」の4項目を重点方針として取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高219億97百万円（前年同四半期比3.8%減）、売上高208億4百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

利益面では、大型EPC共同企業体工事においてパートナーの施工力不足から連帯債務者として低価格の施工を強いられ売上総利益率が悪化し工事原価総額を見直した結果、利益の戻しが発生したこと及び国内外ともに原価改善面で計画比未達となり売上総利益が減少したことにより営業損失1億13百万円（前年同四半期は営業利益93百万円）、受取配当金や受取地代家賃の増加により経常利益66百万円（前年同四半期は経常利益3億77百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億98百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

（日本）

当第2四半期連結累計期間の売上高は137億81百万円（前年同四半期比4.3%増）となり、営業利益は2億81百万円（前年同四半期は、営業利益4億50百万円）となりました。

（東南アジア）

当第2四半期連結累計期間の売上高は54億38百万円（前年同四半期比4.5%増）となり、営業利益は1億39百万円（前年同四半期は、営業利益89百万円）となりました。

（その他アジア）

当第2四半期連結累計期間の売上高は16億3百万円（前年同四半期比24.2%増）となり、営業利益は8百万円（前年同四半期は、営業利益28百万円）となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億59百万円減少し、437億82百万円となりました。主な要因は、時価の上昇や業務提携を前提としたベトナム大手設備工事会社の株式取得による投資有価証券10億3百万円の増加に対し、現金預金11億27百万円や受取手形・完成工事未収入金等27億40百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ21億80百万円減少し、143億86百万円となりました。主な要因は、未成工事受入金6億25百万円の増加に対し、支払手形・工事未払金等23億68百万円や未払法人税等4億21百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少し、293億95百万円となりました。主な要因は、利益剰余金4億45百万円の減少などによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、9億53百万円減少し、74億34百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億87百万円の収入（前年同四半期は、24億18百万円の収入）となりました。主な要因は、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が64百万円となった他、売上債権の減少28億89百万円などにより資金が増加しましたが、仕入債務の減少20億21百万円や法人税等の支払額4億91百万円などにより資金が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億13百万円の支出（前年同四半期は、12億48百万円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入9億72百万円により資金が増加しましたが、投資有価証券の取得による支出6億66百万円や定期預金の預入による支出8億10百万円などにより資金が減少したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億65百万円の支出（前年同四半期は、14億4百万円の支出）となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出3億37百万円や配当金の支払額4億12百万円などにより資金が減少したことによるものです。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,000,000	18,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない当 社における標準となる株式で あり、単元株式数は、100株 であります。
計	18,000,000	18,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	18,000,000	-	1,190,250	-	-

(5)【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
公益財団法人八幡記念育英奨学会	広島市中区大手町4丁目6-16	2,301	13.75
神戸 道雄	兵庫県宝塚市	1,345	8.04
双栄興業株式会社	東京都千代田区九段南3丁目9-12	1,170	6.99
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	888	5.31
八幡 信孝	東京都千代田区	782	4.67
八幡 欣也	東京都杉並区	558	3.34
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5-5	463	2.77
株式会社埼玉りそな銀行	さいたま市浦和区常盤7丁目4番1号	463	2.77
株式会社広島銀行	広島市中区紙屋町1丁目3-8	463	2.77
サンテック従業員投資会	東京都千代田区二番町3番地13	453	2.71
計	-	8,888	53.13

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,271,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,699,900	166,999	-
単元未満株式	普通株式 29,000	-	-
発行済株式総数	18,000,000	-	-
総株主の議決権	-	166,999	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が86株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	1,271,100	-	1,271,100	7.06
計	-	1,271,100	-	1,271,100	7.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	9,358,365	8,230,694
受取手形・完成工事未収入金等	16,169,680	13,428,708
電子記録債権	906,911	648,903
未成工事支出金	293,029	506,187
その他	979,531	1,251,983
貸倒引当金	54,877	59,598
流動資産合計	27,652,640	24,006,880
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,231,579	4,278,874
その他(純額)	2,760,385	2,691,317
有形固定資産合計	6,991,964	6,970,192
無形固定資産		
のれん	488,858	413,649
その他	801,038	832,292
無形固定資産合計	1,289,896	1,245,942
投資その他の資産		
投資有価証券	4,176,027	5,179,060
投資不動産(純額)	5,235,548	5,202,990
繰延税金資産	529,384	502,135
その他	757,153	766,200
貸倒引当金	91,440	91,330
投資その他の資産合計	10,606,675	11,559,057
固定資産合計	18,888,536	19,775,191
資産合計	46,541,177	43,782,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,350,977	6,982,789
電子記録債務	1,449,721	1,724,315
短期借入金	40,000	128,749
未払法人税等	474,228	52,658
未成工事受入金	2,133,670	2,759,256
完成工事補償引当金	47,203	18,000
工事損失引当金	50,768	67,731
賞与引当金	352,665	9,372
その他	1,023,511	913,491
流動負債合計	14,922,748	12,656,363
固定負債		
長期借入金	496,000	496,000
繰延税金負債	454,033	547,369
役員退職慰労引当金	4,161	4,871
執行役員退職慰労引当金	27,200	31,460
退職給付に係る負債	35,419	34,293
その他	627,142	615,850
固定負債合計	1,643,956	1,729,844
負債合計	16,566,704	14,386,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	506,235
利益剰余金	27,555,549	27,110,516
自己株式	2,077,654	914,496
株主資本合計	28,675,146	27,892,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,151,990	1,385,504
繰延ヘッジ損益	12,563	-
為替換算調整勘定	157,564	108,716
退職給付に係る調整累計額	56,510	46,084
その他の包括利益累計額合計	1,265,608	1,448,136
非支配株主持分	33,717	55,221
純資産合計	29,974,472	29,395,863
負債純資産合計	46,541,177	43,782,072

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日)
売上高	19,656,662	20,804,967
売上原価	17,503,434	18,813,519
売上総利益	2,153,228	1,991,447
販売費及び一般管理費	1 2,059,794	1 2,104,986
営業利益又は営業損失 ()	93,433	113,538
営業外収益		
受取利息	3,623	9,877
受取配当金	46,268	58,993
受取地代家賃	222,905	259,094
為替差益	41,634	-
その他	114,268	84,185
営業外収益合計	428,700	412,150
営業外費用		
支払利息	8,076	5,204
不動産賃貸費用	92,460	88,815
為替差損	-	97,839
その他	43,803	40,736
営業外費用合計	144,340	232,596
経常利益	377,794	66,015
特別利益		
固定資産売却益	61,850	-
特別利益合計	61,850	-
特別損失		
固定資産除却損	10,811	1,508
その他	674	-
特別損失合計	11,486	1,508
税金等調整前四半期純利益	428,158	64,507
法人税等	216,181	75,444
四半期純利益又は四半期純損失 ()	211,976	10,937
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,801	20,546
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 ()	198,174	31,483

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	211,976	10,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208,680	233,513
繰延ヘッジ損益	64,755	12,563
為替換算調整勘定	69,533	48,847
退職給付に係る調整額	759	10,426
その他の包括利益合計	203,142	182,528
四半期包括利益	415,118	171,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,723	170,766
非支配株主に係る四半期包括利益	1,395	825

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	428,158	64,507
減価償却費	227,638	237,001
のれん償却額	75,208	75,208
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,902	5,778
完成工事補償引当金の増減額(は減少)	-	29,203
工事損失引当金の増減額(は減少)	35,561	16,962
賞与引当金の増減額(は減少)	329,909	343,293
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,061	710
執行役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,571	4,260
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	3,155	905
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	18,239	7,309
受取利息及び受取配当金	49,892	68,871
支払利息	8,076	5,204
為替差損益(は益)	9,212	42,100
有形固定資産売却損益(は益)	61,789	-
有形固定資産除却損	10,811	1,508
売上債権の増減額(は増加)	670,813	2,889,049
未成工事支出金の増減額(は増加)	99,963	214,927
仕入債務の増減額(は減少)	560,811	2,021,566
未成工事受入金の増減額(は減少)	909,272	651,158
その他の資産の増減額(は増加)	272,875	507,034
その他の負債の増減額(は減少)	400,243	114,456
小計	2,421,779	914,795
利息及び配当金の受取額	49,892	68,871
利息の支払額	8,076	5,204
法人税等の支払額	44,886	491,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,418,709	487,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	320,390	259,768
有形固定資産の売却による収入	88,922	84,092
無形固定資産の取得による支出	4,932	34,690
投資有価証券の取得による支出	3,284	666,431
投資不動産の取得による支出	66,732	420
定期預金の払戻による収入	-	972,120
定期預金の預入による支出	970,080	810,100
貸付けによる支出	180	160
貸付金の回収による収入	1,005	5,916
その他の増減額(は減少)	27,465	4,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,248,206	713,700

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	387,467	89,000
リース債務の返済による支出	13,759	4,062
自己株式の取得による支出	522,008	337,608
配当金の支払額	481,640	412,825
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,404,875	665,496
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	95,993	61,112
現金及び現金同等物の期首残高	9,638,777	8,387,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 9,308,411	1 7,434,294

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
従業員給料手当	975,176千円	1,011,215千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金預金	10,278,491千円	8,230,694千円
預入期間が3か月を超える定期預金	970,080 "	796,400 "
現金及び現金同等物	9,308,411千円	7,434,294千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	482,796	27	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	413,548	24	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2019年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月31日付で、自己株式2,000,000株の消却を、2019年8月23日開催の取締役会決議に基づき、2019年8月28日付で、自己株式502,300株の取得をそれぞれ実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が1,500,766千円減少し、自己株式が1,163,220千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が506,235千円、自己株式が914,496千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,215,378	5,172,069	1,269,214	19,656,662	-	19,656,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	33,273	22,245	55,519	55,519	-
計	13,215,378	5,205,343	1,291,460	19,712,182	55,519	19,656,662
セグメント利益	450,301	89,704	28,439	568,445	475,011	93,433

(注)1 セグメント利益の調整額 475,011千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	東南 アジア	その他 アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,781,139	5,425,354	1,598,473	20,804,967	-	20,804,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	12,687	4,992	17,679	17,679	-
計	13,781,139	5,438,041	1,603,465	20,822,646	17,679	20,804,967
セグメント利益又は損失 ()	281,784	139,512	8,638	429,934	543,473	113,538

(注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 543,473千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、インドネシア

(2) その他アジア : 中国、台湾、バングラデシュ

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失()	11円22銭	1円85銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	198,174	31,483
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 ()(千円)	198,174	31,483
普通株式の期中平均株式数(株)	17,664,671	17,063,726

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月8日

株式会社サンテック
取締役会 御中

東邦監査法人

指定社員 公認会計士 小宮 直樹 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 石井 克昌 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。